



『ラテックス・フルーツ症候群』 ご存じですか？

ラテックスアレルギーの患者さんの30～50%が、果物やその加工品を摂取した際に、口腔アレルギー症状や蕁麻疹、アナフィラキシーなどの即時型アレルギー反応を生じることがあります。

これは「ラテックス・フルーツ症候群」と呼ばれる現象で、果物や野菜に含まれるアレルギーとラテックスアレルギーとの間のアミノ酸配列の類似性に起因するIgEの交差反応性による機序と考えられています。

ハイリスク群

バナナ



アボカド



栗



キウイ



日本ラテックスアレルギー研究会
安全対策ガイドラインより

*他 イチジク パイナップル 桃 くるみ グレープフルーツ メロン
イチゴ ジャがいも トマト ほうれん草 レタス セロリなど多くの
食品でもアレルギー反応を生じることがあります。



病院では多くのラテックス製品（駆血帯、膀胱内留置カテーテル、ネラトンカテーテル、テープ類など）が使用されています。

上記に該当する食品のアレルギー情報がある場合には、非ラテックス製品を使用する必要があります。

- 手術センターではラテックス・フルーツ症候群に該当または可能性がある場合、事前に手術に使用する物品を調査し、ラテックス製品を使わない環境（ラテックスフリー）で対応しています。
- 対応に困ったときや悩んだときは手術センターまたは森友(18815)までご連絡ください。